

登 録 申 請 書

受付印

代表者住所 □□市□□区□□町□丁目□番□号

代表取締役 富士見 太郎

- ・申請者が法人の場合は、登記事項証明書、定款等（内容確認後、返却します。）

公印

様式第 2 号記載例

(機械器具の概要を記載した書面の例 (建築物飲料水貯水槽清掃業の場合))

機材の保管場所： △△区△△町△丁目△番△号

設 備 ・ 機 器 名 簿

年 月 日現在			
名 称	型 式	数 量	購 入 年 月 日
揚水ポンプ	霞ヶ関ポンプ(株) PUMP-5 型	2	平成 15 年 8 月 1 日
高圧洗浄機	厚生社(株)製 KAS-3 型	2	平成 21 年 7 月 1 日
残水処理機	厚生設備製造(株) Z-1101 型	2	平成 21 年 7 月 1 日
換気ファン	ギンザゝ・ファン・カンパニー(株)製	3	平成 21 年 7 月 1 日
防水型照明器具	霞ヶ関電気(株)製 L-80 型	4	平成 15 年 8 月 1 日
色度計	水質基準に関する省令(平成 15 年厚生労働省令第 101 号)に定める方法 (比色法)	1	平成 28 年 5 月 1 日
濁度計	水質基準に関する省令(平成 15 年厚生労働省令第 101 号)に定める方法 (比濁法)	1	平成 28 年 5 月 1 日
残留塩素測定器	太平洋測定器(株)製 CC-50 型	1	平成 15 年 8 月 1 日

様式第 3 号

(監督者等の氏名を記載した書面の例 (建築物環境衛生総合管理業の場合))

監 督 者 等 名 簿

年 月 日現在

監督者等の名称(注 1)	氏 名	業 務 範 囲 (注 2)	経験年数	資 格 の 種 別 (注 3)	資格取得年月日
統括管理者	厚生 太郎	業務全般	4 年	統括管理者再講習会修了 第〇〇〇〇号	平成 26 年 7 月 10 日
清掃作業監督者	本田 三郎	第 1 班	5 年	清掃作業監督者講習会修了 第△△△△号	平成 29 年 10 月 5 日
〃	立花 四郎	第 2 班	5 年	清掃作業監督者再講習会修了 第□□□□号	平成 30 年 2 月 9 日
空調給排水管理監督者	広島 町男	第 1 班、第 2 班	3 年	空調給排水管理監督者講習会修了 第◎◎◎◎号	平成 25 年 9 月 13 日
空気環境測定実施者	井上 花子	第 1 班、第 2 班	3 年	空気環境測定実施者講習会修了 第■ ■ ■ ■ 号	平成 29 年 10 月 21 日

(注 1) 清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空気調和用ダクト清掃業の場合はダクト清掃作業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、貯水槽清掃業の場合は飲料水貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃業の場合は排水管清掃作業監督者、建築物ねずみ昆虫等防除業の場合は防除作業監督者、建築物環境衛生総合管理業の場合は統括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者について記入すること。

(注 2) 監督者等が複数いる場合は、それぞれの業務分担を記入すること。

(注 3) 〇〇講習会修了、建築物環境衛生管理技術者免状保有者等と記入すること。

様式第 4 号
(研修の実施状況を記載した書面の例(自社研修の場合))

研 修 実 施 状 況 (計 画) (平成 2 4 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 5 年 3 月 3 1 日)

平成 2 5 年 4 月 1 日現在

研修の期日	研 修 の 内 容	指導員の氏名及び資格	対象従事者数(注 1)	参加従事者数及び氏名(注 2)
平成 24 年 6 月 1 日 [研修会場] 本社 研修室	1. 機械器具の種類と使用方法(180 分) 器具の目的と機能／機器の目的と機能／ごみ収集／ほこりや汚れの取り方／タオル、乾式モップ、ほうきの使い方／真空掃除機、床みがき機の使い方／洗浄の種類と目的／主な床の洗いや方 2. 資材の種類と使用方法(60 分) 洗剤、合成洗剤の組成／洗剤使用上の注意／洗剤と洗浄剤の環境への影響／床維持剤の組成、水性樹脂床維持剤の使い方／廃棄物処理の目的／廃棄物処理作業の流れ／処理作業の要点と注意事項／廃棄物集積所の整理整頓 3. 安全及び衛生(60 分) 清掃作業の労働災害／作業安全のための注意／第三者に対する配慮、労働衛生 4. 建築物の環境衛生行政(60 分) 清掃の目的／建築物の清掃と環境衛生／清掃技術の発達／建築物衛生法と登録制度 5. 作業従事者の責任と任務(60 分) 従事者の自覚／作業上の注意事項／サービス精神とマナー／団体行動と人間関係／個人情報保護法 (社)ビルメンテナンス協会のテキスト使用	伊藤 一郎 清掃作業監督者 (第〇〇〇〇号、 〇年〇月〇日)	5 名	5 名 参加者の氏名 (フルネーム)

(注 1) 研修の対象として予定している従事者の数を記入すること。
(注 2) 研修に参加した従事者の数および全員の氏名を記入すること。計画の場合は記入する必要はありません。
(注 3) 自社研修の場合、使用したテキストの表紙のコピーを添付すること。

様式第 4 号
(研修の実施状況を記載した書面の例(登録団体を利用した場合))

研 修 実 施 状 況 (計 画) (平成 2 4 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 5 年 3 月 3 1 日)

平成 2 5 年 4 月 1 日現在

研修の期日	研 修 の 内 容	指導員の氏名及び資格	対象従事者数(注 1)	参加従事者数及び氏名(注 2)
平成 24 年	※登録団体が行う研修に参加 (修了証書は別添のとおり)			5 名 参加者の氏名 (フルネーム)
8 月 21 日			2 名	
8 月 30 日			1 名	
9 月 15 日			2 名	
			計 5 名	

(注 1) 研修の対象として予定している従事者の数を記入すること。
(注 2) 研修に参加した従事者の数および全員の氏名を記入すること。計画の場合は記入する必要はありません。
(注 3) 自社研修の場合、使用したテキストの表紙のコピーを添付すること。

様式第 5－ 1 号
(作業及び作業に用いる機械器具その他の設備の維持管理の方法を記載した書面の例(建築物飲料水貯水槽清掃業の場合))

作 業 実 施 方 法 等

〇〇年〇〇月〇〇日現在

	作 業 班	監 督 者 等	使 用 す る 機 械 器 具
作 業 班 編 成	第 1 班 構成員 4 名 責任者 1 名 従事者 3 名	監督者 田中 次郎	揚水ポンプ 2 台、高圧洗浄機 2 台、残水処理機 2 台、換気ファン 2 台、防水型照明機器 3 台、色度計 1 台、濁度計 1 台、残留塩素測定器 1 台、ブラシ、バケツその他の掃除用具一式
	第 2 班 構成員 3 名 責任者 1 名 従事者 2 名	監督者 河本 太郎	揚水ポンプ 1 台、高圧洗浄機 1 台、残水処理機 1 台、換気ファン 2 台、防水型照明機器 2 台、色度計 1 台、濁度計 1 台、残留塩素測定器 1 台、ブラシ、バケツその他の掃除用具一式
作 業 手 順	「作業及び作業に用いる機械器具その他の設備の維持管理の方法について記入（登録基準を参照）」		

様式第 5－2 号
(作業及び作業に用いる機械器具その他の設備の維持管理の方法を記載した書面の例(建築物飲料水貯水槽清掃業の場合))

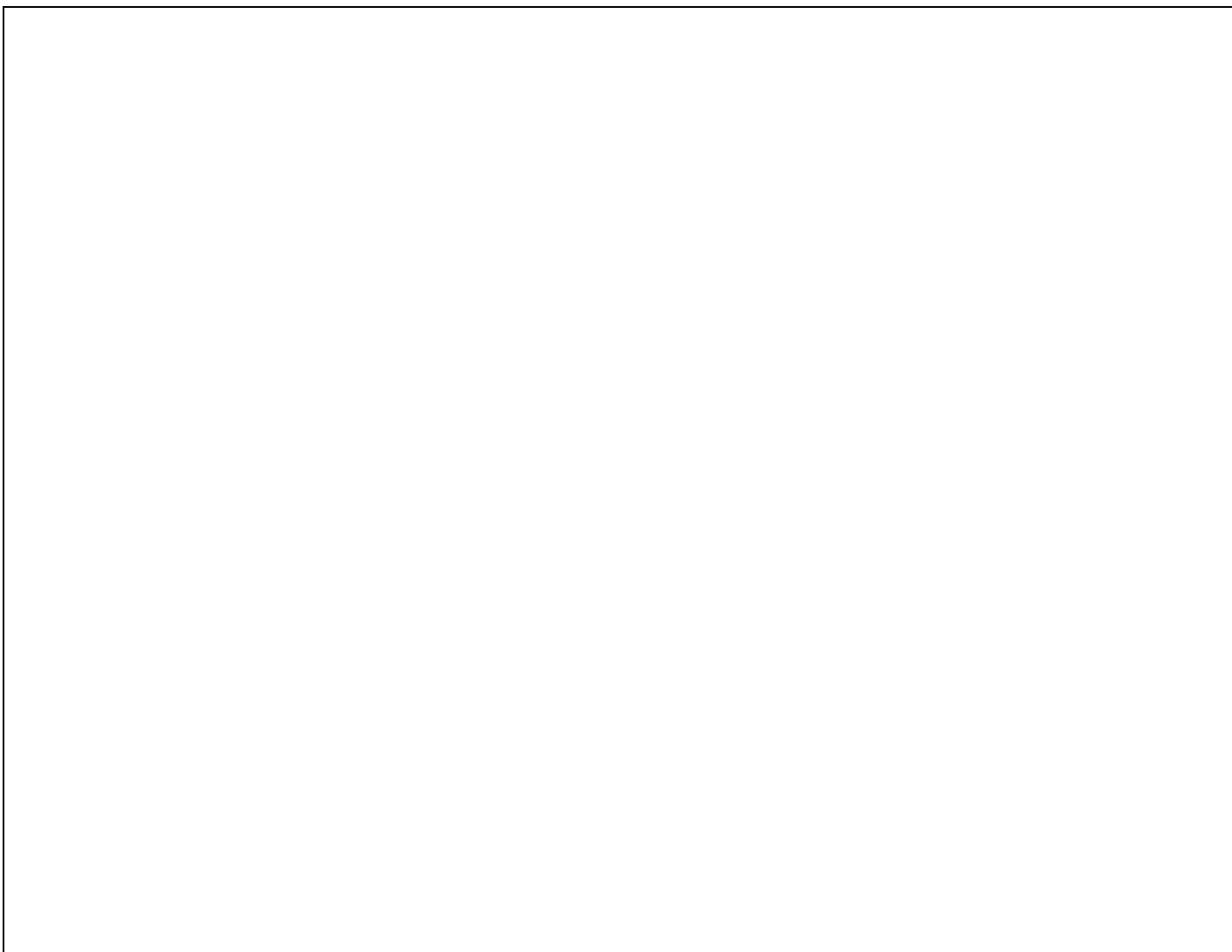
作 業 実 施 方 法 等

〇〇年〇〇月〇〇日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法	
貯水槽の清掃作業及び貯水槽の清掃作業に用いる機械器具その他の設備の維持管理は原則として自社で行うが、これらの業務を他社のものに委託する場合には次により対応する。 1 受託者が使用する機器が登録基準の「物的要件」を満たしていることを確認する。 2 受託者が、登録基準の「人的要件」を満たしていることを確認する。 3 受託者の氏名（法人にあっては名称）、委託する業務の範囲及び委託する期間を、あらかじめ建築物維持管理権限者に報告する。 4 受託者から業務の実施状況について報告を受けること等により、業務の方法が登録基準の「その他の要件」を満たしていることを常時把握する。	
苦情及び緊急の連絡に対する体制	
苦情及び緊急連絡通報 通 報 ↓ 受 付 出 ↓ 動 現 場 状 況 確 認 現 場 ↓ 対 応 通 報 者 へ の 報 告 営業所責任者 富士見 太郎 （会社）〇〇〇-〇〇〇〇または(携帯) 〇〇〇-〇〇〇〇 貯水槽清掃作業監督者 〇〇 〇〇 貯水槽清掃作業従事者 □□ □□ 同上 同上 営業所責任者 富士見 太郎	

営業所等の見取図等

(1) 保管庫等の設置場所及び概要図



(2) 営業所附近見取図



(注 1) 保管庫にあっては立体図及び寸法（メートル）、室にあっては平面図及び寸法(メートル)を記入すること。

(注 2) 保管庫に施錠装置が設けられている場合その位置を明示すること。

(注 3) 建築物飲料水貯水槽清掃業、建築物排水管清掃業、建築物ねずみ昆虫等防除業の登録にあっては、別に定める記入用紙（様式 6－2）も記入すること。